

地質ニュース

昭和47年3月 第211号 1972

| | | |
|-------|---|----|
| 解説 | 月の年令と成因……………倉 沢 一 | 1 |
| トピックス | 試 錐 新 技 術 ～研究委員会の紹介～……………河 内 英 幸 | 14 |
| | 地下資源の発見と開発(その2)～鉱山発見の開拓者たち～…郷 原 範 造 | 42 |
| | 南極大陸の歴史を探る⑥～古生代の氷床～…木 崎 甲子郎 | 34 |
| 講 座 | 層 位 学 (総論その9-1)……………福 田 理 | 22 |
| 国際会議 | 1971年国際オフィオライト研究集会に参加して……………番 場 猛 夫 | 48 |
| | ア ジ ア お よ び 極 東 地 域 地 質 図……………海 外 地 質 調 査 協 力 室 | 57 |
| 資 料 | 地質調査所所蔵の外国の地質図3(オーストラリア)……………資 料 室 | 58 |
| | 地 学 と 切 手……………P. O. | 21 |
| | 昭和46年度地質調査所の出版物…………… | 64 |

編 集 地 質 調 査 所

波 調 層

表紙の写真

三浦半島三崎港の西、このあたりの地層は暗灰色の泥岩とまっ黒のスコリア質粗粒砂岩の互層からなっているが、なかに灰白色の凝灰岩や凝灰質泥岩をはさんでいる。これらは重要な鍵層となっており、地質調査では絶対に見のがす事はできない。しかし時にその中に美しい幾何学的模様を見つけ、鍵層としての重要性をわすれ、しばしのやすらぎをおぼえる。

写真では、波長10cm程の規則的な波曲が見られ、この地層が堆積した時の流れの作用によるリップルマークと考えられる。しかし部分的には平行ラミナの波曲したコンポリュートラミナ状であり、また他の部分は地層それ自体の重さによる変形とも考えられる。

(文 衣笠善博・写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社